

小学校第3学年 国語科 学習指導案

期 日 平成24年9月27日(木)第5校時
 場 所 宇城市立小川小学校 3年1組教室
 指導者 教諭 小崎 美穂

1 単元名

「はたらく犬について調べよう」 教材文 もうどう犬の訓練 (東京書籍)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の内容(C読むこと)イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」と、エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を受けて設定してある。

本教材「もうどう犬の訓練」は、大事な言葉や文を見付けながら読み、書かれている内容を短くまとめて要約する力を身に付けることをねらいとしている。また、教材文を読むことで、身近なペットとしてかわいがられている犬ともうどう犬の違いに驚き、「もっと知りたい」という思いをより強く抱くことができると考えられる。

そこで、本単元では第2学年に「はたらく犬もの知りカード」を紹介するという学習のゴールを設定することにより、相手意識や目的意識を持ちながら、本や資料を読んで分かったことを短い文章にまとめる力を付けることを目指していく。

(2) 系統観

2年(11月)	3年(4月)	3年(6月)	3年(9月)本時	3年(2月)
どうぶつの ひみつを みんなで さぐる ビーバーの大工事 C読むこと(1)イ (2)ウ B書くこと(1)エ (2)ウ	だん落到い気をつけて読もう 自然のかくし絵 C読むこと(1)イ B書くこと(1)ウ	書く人の くふうを考えよう 「ほけんだより」を読みくらべよう C読むこと(1)イ B書くこと(1)ウ	はたらく犬について調べよう もうどう犬の訓練 C読むこと(1)イ (2)ウ B書くこと(1)ア (2)ウ	世界の家のつくりについて考えよう 人をつつむ形—世界の家めぐり C読むこと(1)イ B書くこと(1)ウ

(3) 児童観

○本学級の児童は男子18人、女子11人の合計29人である。

○本単元に関する児童の実態(7月末調査結果)は以下の通りである。

	ア あてはまる	イ どちらかといえばあてはまる	ウ どちらかといえばあてはまらない	エ あてはまらない	(人)
1	9	13	6	1	
2	26	2	1	0	
3	6	17	4	2	
4	5	14	6	4	
5	1	9	9	10	
6	7	8	7	7	

上記の表から、「大事な言葉や文はどれかと考えて説明文を読むこと」や、「段落ごとに、書かれている内容を短くまとめること」については、学級の約7割の児童ができると答えている。「学習した説明の仕方を、その後の学習で使うこと」については、「あてはまる」と答えている児童が少ないので、今後、読むことを書くことにつなぐ学習を行うことによって身に付けさせていきたい。

(4) 指導観

- 既習の知識や技能を使う場面を意図的に設定することにより、指導事項の確実な習得を図る。
- 単元を貫く言語活動として「はたらく犬もの知りカード」作りを位置付け、作ったカードを2年生に紹介するという学習のゴールを設定することにより、目的意識や相手意識を持つことが可能になる。そして、紹介するカードを書くために、本や資料を使って調べ、必要なことを短くまとめる必然性が生まれてくる。
- 本時では、要約する学習活動を行い、それを次時以降の「はたらく犬もの知りカード」作りにかしっていく。

Aプロジェクト 思考力、判断力、表現力等の育成の観点から	
<p>本単元で高めたい思考力、判断力、表現力等とは、大事な言葉や文を選んで、分かりやすく書き換えたり言葉を補ったりして、書かれている内容を短くまとめる力であると捉える。</p> <p>既習の知識や技能を使う場面として、第3学年「自然のかくし絵」で行った形式段落に分ける学習や、「ほけんだよりを読みくらべよう」で学習した「はじめ・中・おわり」という文章構成に分ける学習を想起させながら、書かれている内容を短くまとめていく。そして、「はたらく犬もの知りカード」作りを行うことを通して、今後の学習や生活の中で要約することができる力を身に付け、生活の中で生きてはたらく力としたい。</p>	

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○大事な言葉や文を見付けながら読み取ることができる。 ○書かれている内容を短くまとめながら読み取ることができる。
国語への 関心・意欲・態度	①はたらく動物について関心を持ち、図鑑や事典など様々な資料を読んで調べようとしている。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ①大事な言葉や文をとらえて読んでいる。(1)イ ②大事な言葉や文を使って、書かれている内容を短くまとめている。(1)エ ③文章を読んでもっと詳しく知りたいと思ったことを知るために、内容が関連する他の本を選んで読んでいる。(1)カ
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ①資料を読み、自分の課題を解決するのに必要な事柄を選んでいる。(1)ア ②調べて分かったことを整理し、短い文章にまとめて書いている。(1)ウ
言語についての知識・理解・技能	①指示語や接続語は、文相互の関係、段落相互の関係を端的に示す手掛かりになることを理解し、文章を読んでいる。(イ(ク))

4 指導・評価の計画 (11 時間取扱い 本時 8 / 11)

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※プロジェクトの観点から	評価基準 (評価方法)
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文の写真を見て、話し合う。 ○「はたらく犬もの知りカード」を作るための学習計画を立て、見通しを持つ。 ○自分が読みたいはたらく犬の本を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もうどう犬のイメージを持たせるために教材文の写真を提示し、何をしているところか話し合う。 ・環境作りのため、関連する資料や本については事前に配付または展示しておく。 ・もうどう犬について授業者が作っておいた「はたらく犬もの知りカード」を提示する。 <p>※「はたらく犬もの知りカード」を2年生に紹介するという学習のゴールを示す。</p>	関心・意欲・態度① (発言) 「はたらく犬もの知りカード」を作ることに関心を持ち、自分が読む本を選んでいる。 読む能力③ (読書の観察) 内容が関係する本を選んで読んでいる。[並行読書]

2	2	○全文を通読し、初めて知ったことや分かったことをワークシートに書いて発表する。 ○発表を基に整理し、教材文の学習課題を設定する。	・初めて知ったことや分かったことを出し合い、教材文の内容にそった学習課題を設定する。	読む能力①（発言・ワークシート） 教材文に書かれていることをワークシートに書き、発表している。
	3	○形式段落に分け、文章構成を確認する。 ○「もうどう犬」と「はたらく犬」、「ペットとしてかわいがられる犬」「犬」の関係をまとめる。	※5月教材「自然のかくし絵」で行った形式段落に分けるといいう学習を想起させる。 ・図を使いながら、読み取った内容を説明させる。	読む能力①（ワークシート） 「もうどう犬」と「はたらく犬」「ペットとしてかわいがられる犬」「犬」の関係について図を使って説明している。
	4	○「もうどう犬になるまで、どんな訓練をするのか」を教材文に書かれている順にまとめる。	・④から⑫段落を読み、もうどう犬の訓練を短冊にまとめ、その短冊を順序よく並べさせる。	読む能力②（ワークシート） もうどう犬の訓練について、順序よくまとめている。
	5	○「もうどう犬とは、どんな犬か」「目の不自由な人にとって、もうどう犬とは何か」について、短くまとめる。	※7月教材「ほけんだよりに読みくらべよう」で行った文章構成「はじめ」「中」「おわり」に分けるといいう学習を想起させる。	読む能力②（ワークシート） 文章構成の「はじめ」「おわり」を意識して、書かれていることを捉え、短くまとめている
	6・7	○「もうどう犬になるためにできなくてはいけないことは、どんなことか」（訓練）について、短くまとめる。	・「人の言うことにしたがう訓練」と「人を安全にみちびく訓練」の中から「できなくてはいけないこと」について要約をさせる。	読む能力②（ワークシート） 大切な言葉を使って、書かれている内容を短くまとめている。
	8 本時	○「もうどう犬がしてはいけないことは、どんなことか」について、短くまとめる。	・「もうどう犬にふさわしい心がまえ」の中から、「してはいけないこと」について要約をさせる。 ※形式段落⑭を分かりやすく書きかえたり言葉を補ったりして、要約させる。	読む能力②（ワークシート） 大切な言葉を使って、書かれている内容を短くまとめている。
3	9	○授業と並行して読んでいたリーフレットや本の中で2年生に教えたことをワークシートに書き出す。	・2年生が知ったら喜ぶような、はたらく犬について教えたことをワークシートに書かせる。	書く能力①（ワークシート） 自分の課題を解決するのに必要な事柄を選んで書いている。
	10	○ワークシートに書き出したことを短くまとめ、「はたらく犬もの知りカード」を作る。	※課題と関係ない部分は削除し、必要であれば言葉を補って、要約させる。	書く能力②（ワークシート） 分かりやすく書きかえたり言葉を補ったりして、内容を短くまとめている。
	11	○「はたらく犬もの知りカード」を2年生に紹介し、学習を振り返る。	・カードを紹介する際には、調べた本（実物）を提示する。 ・学習の振り返りをさせる。	関心・意欲・態度①（発言・紹介の様子） 作った「はたらく犬もの知りカード」を2年生に紹介している。

5 本時の学習

(1) 目標 もうどう犬がしてはいけないことを、要約することができる。

(2) 評価基準

「読む能力②」（発言・ワークシート）

(B基準) してはいけないことをキーワードとして取り出し、箇条書きでまとめることができる。

(A基準) してはいけないことを分類して、自分の言葉で分かりやすくまとめることができる。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Aプロジェクトの視点	備考
導入 5分	1 本時の課題を確認する。		○前時までに解決した「できなくてはいけないこと」を振り返り、本時の課題を確認する。	学習掲示物
展開 35分	2 学習課題について話し合う。 (1) 学習の見通しを持つ。 【一斉】 (2) 大事な言葉を見つけて、ワークシートにサイドラインを引く。 【個人】 (3) 見つけた言葉を出し合う。 【一斉】 (4) 見つけた言葉を分類し、整理する。 【一斉】 (5) もうどう犬がしてはいけないことを要約する。	<p>○大事な言葉は、どの段落にありますか。</p> <p>○第⑭段落で、してはいけないことを説明してある部分にサイドラインを引きましょう。</p> <p>○もうどう犬がしてはいけないことを発表しましょう。</p> <p>○予想される言葉 「おこる」「ほえる」「あばれる」「人にあまえる」「じゃれる」「おいしそうな匂いのする方に行く」「他の犬がほえるのを気にする」</p> <p>○書かれている順番に短冊カードを並べ替えてください。</p> <p>○「おこる」と似ている言葉はどれでしょうか。</p> <p>○「人にあまえる」と似ている言葉はどれでしょうか。</p> <p>○他の犬に対して、してはいけないことはどれでしょうか。</p> <p>○七つの具体例をまとめて、どんなことと言えばよいでしょうか。</p>	<p>○教科書39ページのカード例の形式に合わせ、課題を示す。</p> <p>○第⑭段落に書かれているという意見が出たら、拡大した教材文を掲示する。⑭段落である理由を尋ね、「～してはいけません」という言葉に着目させる。</p> <p>○児童が発表した言葉を短冊カードで掲示する。</p> <p>○「他の犬がほえても、気にしない」ことに気付かない場合は、接続語「さらに」に着目させる。</p> <p>○代表の児童に並べ替えさせる。 ※もうどう犬がしてはいけないこと（七つの具体例）を分類することを通して、「要約する力」を身につけさせる。</p>	<p>拡大したカード① 拡大した教材文第⑭段落</p> <p>短冊カード</p>
整理 5分	3 学習のまとめをする。 【一斉】	○もうどう犬がしてはいけないことを、短くまとめて発表しましょう。	<p>○キーワードを用いて、まとめさせる。</p> <p>○学習したことの共有化を図る。</p> <p>○教科書40ページのカード例の形式に合わせ、要約文を示す。</p>	拡大したカード②

